

ヌカカ (俗称:干拓虫)による 被害を予防するために

米子市の弓浜地域等において梅雨の時期に発生し、人にかゆみなどの健康被害をもたらすヌカカによる被害を軽減するため、米子市では鳥取大学医学部、米子工業高等専門学校や殺虫剤メーカーの大日本除虫菊株式会社 (KINCHO) など関係機関と連携、協力して各種調査を実施し、結果をとりまとめたリーフレットを作成しましたので、被害予防にご活用ください。

ヌカカ(俗称:干拓虫)とは

ヌカカとは、糠(ぬか)のように微小な蚊という意味が名前の由来になっていますが、ハエ目・ヌカカ科に属する昆虫の総称であり、蚊とは違う種類の昆虫です。

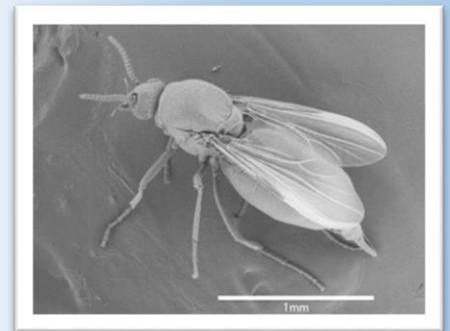
かまれると、腫れやかゆみが数日続くこともあります。ただし、症状のあらわれ方には個人差があります。

体長が1~2mmと微小なため、飛んでいる姿はほとんど見えず、網戸を通り抜けたり、衣服の下にもぐりこんだりするので、被害を防止するのは容易ではありません。

米子市内では、例年、5月から6月にかけて発生の最盛期となっており、注意が必要です。



トクナガクロヌカカ♀の顕微鏡写真
画像提供:米子工業高等専門学校



トクナガクロヌカカ♀の電子顕微鏡写真
画像提供:鳥取大学医学部



詳しい予防方法については、
裏面を見てね♪

ヌカカの発生を抑制するために

ヌカカの主な発生源は、荒廃農地など長年管理されず枯れ葉などが溜まり栄養豊富となっている土壌です。ヌカカの発生を抑制するためには、石灰散布、除草及び耕うんにより幼虫を駆除することが有効とされていることから、農地等の適正な管理が重要となります。

米子市では、地域で継続的に実施できる手法を検討しています。

その他ヌカカに関する詳しい情報は、
米子市ホームページをご覧ください。

<http://www.city.yonago.lg.jp/18869.htm>



編集・発行/2020.12

米子市環境政策課

☎0859-23-5257

被害予防について



ヌカカが活発に活動する時間帯や気象条件に注意しましょう!

- 朝夕、特に朝方は、注意が必要です。風が無いときは、特に注意が必要です。

肌の露出部分をなるべくなくしましょう!

- 長そで・長ズボン・帽子を着用し、さらにタオルなどを首にまき、肌をなるべく露出しないようにしましょう!
- 肌と衣服の間隙をできるだけなくし、衣服などに潜り込んでくるのを防ぎましょう!



虫除けスプレーなどを使用しましょう!

- 屋外では人体用虫除け剤が最も有効です。ヌカカは衣服に潜り込む習性があるので、露出部分だけでなく、襟元や袖口あたりやその奥にしっかりと虫除けスプレーや虫除けジェルを塗ることがポイントとなります。
- 新しい虫除け有効成分「イカリジン」を含む虫除け剤は、皮膚刺激性が無いため、お子様や皮膚の弱い方でも安心して使用できます。また、化学繊維を傷めることが無いため、衣類の上からでも使用できます。

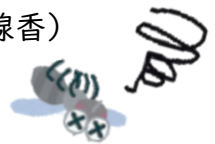
《上手な虫除け剤の使用手法》(塗るタイプ・スプレータイプの場合)



- ・首、腕及び足首など衣類との境目は、少し内側の肌までよく塗りましょう!
- ・手のひらを使って塗り伸ばし、塗りムラがないよう、十分に塗りましょう!
- ・長時間おでかけする際は、再度塗りなおしましょう!

屋内での被害を軽減するためには

- 網戸や窓ガラスにかけて虫の侵入を防止するスプレーや蚊取り線香(ハエ取り線香)などを使用し、なるべく建物内に侵入させないようにしましょう!
- 入ってきたものは、屋内用の電気蚊取り器を使用するなどして駆除しましょう!



かまれて症状がひどい場合は、早めに医療機関(皮膚科)を受診しましょう!

- 医療機関で処方される治療薬を使用するほうが、治りが早くなるようです。



ヌカカにかまれたときの皮膚症状
画像提供:左野皮膚科